

昭和五年八月一日—九月六日發信)

大連特產

九月
六五四三二一
日(土)木水火月

大豆

現物	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限
△印前引	二月限

小麥相場

九月
六五四三二一
日(土)木水火月

ゴカシ

現物	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限
△印前引	二月限

大豆

現物	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限
△印前引	二月限

油豆大

現物	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限
△印前引	二月限

票銀

現物	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限
△印前引	二月限

海上小麦粉

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

大坂阪期米

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

保護謨相場

九月
六五四三二一
日(土)木水火月

ンドンロ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

砂糖相場

九月
六五四三二一
日(土)木水火月

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

生絲相場

九月
六五四三二一
日(土)木水火月

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
△印前引	十月限
△印前引	十一月限
△印前引	十二月限
△印前引	一月限

クヨーユニ

現物	九月限
<tbl_info cols="

(昭和五年八月廿一日——九月六日發信)

ボンベイ綿糸布市況

〔玉、ノミ、モモ、栗原頼喜二日後〕

△棉花 在荷著減し既に八十萬俵ご傳
へられ、内賣れ残り四十萬俵、輸出商
内二十萬俵見當ご報ぜらる、米印鞘寄
せもこの値頃から見れば未だ米棉の七

割半見當であるから買ひ餘地ある模様で、一般に強保合である。
△綿糸布　印度内地向こしては未だ手合せ困難であるが波斯灣方面引續き買ひ、現物縞三綾出來值四留比三安見當。
又東アフリカ方面への中纖粗布取引旺盛、諸雜貨在荷漸減し需要期近接に買ひ氣潛在してゐるが、本邦の値下りを恐れて手控へ模様である。

ボンベイ紡績休業増加

ボンベイ綿糸布相場
九月六日(土)
晒金巾三呉〇番ライブマン
生金巾三〇番ファリ
粗布三〇ヤード龍C
二〇手綿絲
一〇手綿絲
一七留比
七留比八翁
五留比
八アンナ界
六アンナ界

上 海 綿 絲 相 場

昨年度世界綿業統計

マンチエスター 九月三日(水)

萬國紡織聯合會は一九二九—三〇年度の世界綿業統計を發表した。

種棉花消費高は一昨年度より七十萬俵近くの減少を示した。其内譯を見るに米棉は二百萬俵も激減し、一方インド棉は百萬俵近くも増加を示してゐる。即ち左の通り。(單位千俵)

	元一三年年	元一二四年年	元一五年年
米 棉	二三〇三	一五、〇六	一五、四七
イン ド 棉	六〇全	五、七六	四、五三
エ チ プ ト 棉	九毛	九九	九六
其 他	五、六一	四、六三	四、六五
計	三五、三九	三五、八八	三五、五四
尙半期毎の消費高は左の通り。			
本年三月	昨年八月	昨年二月	
一七月	一七月	一七月	
米 棉	三、〇二	二、九五	二、六四
イン ド 棉	四毛五	五、三	五、四
エ チ プ ト 棉	五、三	五、三	五、四
そ の 他	二、七〇	二、六三	二、五五
計	二、〇七	一、三〇三	一、三〇四
次に國別消費高を見るにイギリス、アメリカは減少し、極東諸國は増加してゐる。順位はアメリカ合衆國、日本、イギリス、インド、支那である。即ち左の通り。(單位千俵)			
イギリス	二、四五	二、八〇	二、九四
ドイツ	一、三三	一、三六	一、五五
フランス	一、七一	一、三七	一、一〇
ロシア	二、〇九	二、五二	一、八六
イタリー	一、〇三	一、〇四	九五
チエッコ	四九五	五、六	五、六
イン ド	二、四九	一、九七	二、〇三
日 本	二、九七	二、六六	二、五四
支 那	二、一七	一、九七	二、〇六
合衆 國	六、〇〇	七、〇三	六、七〇
△紡績棉花手持高	棉花手持高は一般		
ヘスター氏の調査によれば世界の年度末米棉在荷は六百三十四萬俵で、前年度末より百六十七萬俵激増してゐる。然るに紡績手持が斯く反対に減少したことは極度に買ひ控えが行はれてゐるこそを物語るものである)今棉種別及び國別手持高を示せば左の通り。			
(單位千俵)			
△棉 種 別			
米 棉	三〇七年七月末	元年七月末	六年七月末
イン ド 棉	一九六五	一、二三	二、一三
エ チ プ ト 棉	三毛	一、七六	一、七六

世界總計	三年七月末	二年七月末	六年七月末
イギリス	一六四、二〇	一六四、二二	一五五、〇三
ドイツ	一一、〇七〇	一一、〇七〇	一一、一五〇
フランス	一一、〇七〇	一一、〇五〇	一一、二五〇
ロシア	一一、〇五〇	一一、〇五〇	九八、八〇
イタリア	七、六四四	七、六四四	七、一四五
チエツコ	五、三四四	五、三四四	五、一八九
イングランド	三、六三三	三、六三三	三、六三三
支那	八、九七七	八、九七七	九、七七〇
合衆國	七、〇三三	七、〇三三	七、一三一
言	三、八五九	三、六〇三	三、五〇四
	四、八八九	五、五四二	五、五四二
△操短週數	この統計は一週の操業を		
四十八時間とし、半ヶ年即ち二十六週	中に幾週紡機が休週した事になるかを		
示すものであるが依然操短を盛んに行	つてゐるのはイギリスで、イギリスは		
約四割の操短を行つてゐた事になる。	日本の操短激増も目立つてゐる。なほ		
日本は操短激増も目立つてゐる。なほ	一九二八年度下半期の操短週數		
は發表されなかつた。			

生絲

ニユーヨーク生糸市況

アメリカ 絹業會社破綻の後始末

去月廿八日破産の申請をなした合同紡織會社(Amalgamated Silk Corp)は、時價約百萬ドルに上る絹製品のストックを有してゐるが、これはアルツーナー織物會社(Altoona Textile Company)

生糸の需給統計と市場

八月中の生糸統計

ニヨリヨリノ九月四日(木)米國紡業協會發表、八月中の生糸統計は左の如し。(單位俵)

備考	(單位)	輸入	高	生系	生系	日本	その	合計
月末在荷高	一、三九	八、九九	五、一	四、七				
工場引取高	一、七三	四、九八	一、七二七	一、四四	九、七八			
七充	三、九八	一、七六	一、七六	一、七六				
吳	二、〇三	四、七六	四、七六	四、七三				

（依）に達したはすである。
然し乍ら市場はこれだけでまだ餘り
安心するに至らない。それは在荷が
増加し、且つ輸送中のものが多額に
上つてゐるのを稍不安に感じてゐる
からである。

儀)に達したはずである。
然し乍ら市場はこれだけでまだ餘り
安心するに至らない。それは在荷が
増加し、且つ輸送中のものが多額に
上つてゐるのを稍不安に感じてゐる
からである。

油脂

ロンドン油脂市況

△亞麻仁相場も概して安い。
△亞麻仁油期近物に對する消費需要は稍々増加した。
△菜種相場が低落したに拘らず買手は依然氣乘薄である。
△溝洲大豆需要は減退した。これは他の家畜飼料の賣り物が増加した爲である。

△大豆油取引少量。

ニューヨーク

植物油相場

(現物、關稅)

九月三日(水)

一ガ

八仙

天仙

八仙琴

六仙琴

八仙琴

二仙

五仙

七仙

豆粕

